

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【公開番号】特開2010-204843(P2010-204843A)

【公開日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-037

【出願番号】特願2009-48274(P2009-48274)

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/48 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/46 4 5 2 H

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月2日(2012.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

上記目的を達成するために、機器装置と接続が可能な情報処理装置におけるプログラムの本発明の起動制御方法は、検索手段が、前記情報処理装置で稼動している稼動プログラムを検索する検索ステップと、判断手段が、前記検索された稼動プログラムが、前記機器装置の接続に応じて起動する予め設定された機器対応ソフトウェアと同時に稼動することが適さない同時稼動不適格プログラムを含んでいるかどうかを判断する判断ステップと、起動手段が、前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいない場合、前記機器装置が接続された時に前記機器対応ソフトウェアを起動し、前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいる場合、前記機器装置が接続された時に前記機器対応ソフトウェアを起動しないように制御する起動ステップとを有する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

本変形例 1 では、同時稼動不適格プログラムが稼動プログラムのリスト中にある場合（S 3 0 3 で Y E S）、対象の同時稼動不適格プログラムの起動待ち情報 2 0 4 をチェックする。そして、同時稼動不適格プログラムが終了するまで待つて起動するかどうかを判定する（S 4 0 5）。起動すると判定された場合（S 4 0 5 で Y E S）、すなわち対象の同時稼動不適格プログラムの起動待ち情報 2 0 4 が起動待ちする、となっている場合には、稼働中の同時起動不適格プログラムの終了を待つて、機器対応ソフトウェアを起動する（S 4 0 6）。一方、同時稼動不適格プログラムが起動待ちのプログラムでないと判定された場合（S 4 0 5 で N O）、すなわち対象の同時稼動不適格プログラムの起動待ち情報 2 0 4 が起動待ちしないとなっている場合、機器対応ソフトウェアを起動せずに終了する（S 4 0 7）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

なお、上記の例では、機器装置をコンピュータに接続した場合に機器装置に対応したソフトウェアを起動するために常駐する起動制御プログラムの例について説明したが、この機器装置として、例えば印刷装置やカメラに適用してもよい。すなわち、印刷装置がコンピュータに接続され印刷用のソフトウェアが起動される場合には、プリンタのドライバをインストールする為のインストールプログラムは同時稼動不適格プログラムとなる。そして、プリンタのドライバのインストールプログラムが稼動中である場合には、印刷装置がコンピュータに接続されても、印刷ソフトウェアは起動しないように動作する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

図7は本第3の実施形態における印刷ソフトウェア起動制御プログラム700の構成を示すブロック図である。同図において、707は、例えばインクジェットプリンタ、昇華型プリンタ、レーザープリンタなどの印刷装置であるが、本発明は、印刷装置の種類により制限されるものではない。701は、印刷装置707で印刷を行うためのアプリケーションソフトウェアを複数保持する印刷ソフトウェア保持部、702は、印刷ソフトウェア保持部701に保持されているソフトウェアのうちのひとつを起動するソフトウェア起動部である。なお、ソフトウェアは、通常、ハードディスクなどの記憶媒体に保存されているため、その場合、印刷ソフトウェア保持部701は、ソフトウェア起動部702によりソフトウェアを起動できるように必要な情報、例えば起動するソフトウェアへのパス名などを保持する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

機器装置と接続が可能な情報処理装置におけるプログラムの起動制御方法であって、
検索手段が、前記情報処理装置で稼動している稼動プログラムを検索する検索ステップと、

判断手段が、前記検索された稼動プログラムが、前記機器装置の接続に応じて起動する予め設定された機器対応ソフトウェアと同時に稼動することが適さない同時稼動不適格プログラムを含んでいるかどうかを判断する判断ステップと、

起動手段が、前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいない場合、前記機器装置が接続された時に前記機器対応ソフトウェアを起動し、前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいる場合、前記機器装置が接続された時に前記機器対応ソフトウェアを起動しないように制御する起動ステップと

を有することを特徴とする起動制御方法。

【請求項2】

前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいる場合に、前記起動手段が、前記機器装置が接続された後、前記同時稼動不適格プログラムの終了後に、前記機器対応ソフトウェアを起動するステップを更に有することを特徴とする請求項1に記載の起動制御方法。

【請求項3】

前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいる場合に、前記判断手

段が、前記機器対応ソフトウェアの起動待ちをするかどうかを判断するステップと、
起動待ちをすると判断した場合に、前記起動手段が、前記同時稼動不適格プログラムの
終了後に、前記機器対応ソフトウェアを起動するステップと
を更に有することを特徴とする請求項 2 に記載の起動制御方法。

【請求項 4】

機器装置と接続が可能な情報処理装置におけるプログラムの起動制御方法であって、
起動手段が、前記機器装置の接続に応じて、該機器装置に対応する予め決められた機器
対応ソフトウェアを起動する起動ステップと、
検索手段が、稼動している稼動プログラムを検索する検索ステップと、
判断手段が、前記検索された稼動プログラムが、前記機器対応ソフトウェアと同時に稼
動することが適さない同時稼動不適格プログラムを含んでいるかどうかを判断する判断ス
テップと、
前記起動手段が、前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいれば
、前記機器対応ソフトウェアを終了させる終了ステップと
を有することを特徴とする起動制御方法。

【請求項 5】

前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいる場合に、前記起動手
段が、前記同時稼動不適格プログラムの終了後に、前記機器対応ソフトウェアを再起動す
るように制御することを特徴とする請求項 4 に記載の起動制御方法。

【請求項 6】

前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいる場合に、前記判断手
段が、前記機器対応ソフトウェアを再起動するかどうかを判断するステップと、
再起動すると判断した場合に、前記起動手段が、前記同時稼動不適格プログラムの終了
後に、前記機器対応ソフトウェアを再起動するステップと
を有することを特徴とする請求項 5 に記載の起動制御方法。

【請求項 7】

印刷装置と接続が可能な情報処理装置におけるプログラムの起動制御方法であって、
検索手段が、前記情報処理装置で稼動している稼動プログラムを検索する検索ステッ
と、
取得手段が、前記印刷装置が接続された時に、該印刷装置の状態を取得する取得ステッ
プと、
判断手段が、前記稼動プログラムが、前記取得した印刷装置の状態に対応する状態対応
ソフトウェアを含んでいるかどうかを判断する判断ステップと、
起動手段が、前記稼動プログラムが前記状態対応ソフトウェアを含んでいない場合に、
前記印刷装置の接続に応じて予め設定された機器対応ソフトウェアを起動し、前記稼動プ
ログラムが前記状態対応ソフトウェアを含んでいる場合に前記機器対応ソフトウェアを起
動しないように制御する起動ステップと
を有することを特徴とする起動制御方法。

【請求項 8】

印刷装置と接続が可能な情報処理装置におけるプログラムの起動制御方法であって、
検索手段が、前記情報処理装置で稼動している稼動プログラムを検索する検索ステッ
と、
取得手段が、前記印刷装置が接続された時に、該印刷装置の状態を取得する取得ステッ
プと、
判断手段が、前記稼動プログラムが、前記取得した印刷装置の状態に対応する状態対応
ソフトウェアを含んでいるかどうかを判断する判断ステップと、
起動手段が、前記稼動プログラムが前記状態対応ソフトウェアを含んでいない場合に、
前記印刷装置の接続に応じて予め設定された機器対応ソフトウェアを起動し、前記稼動プ
ログラムが前記状態対応ソフトウェアを含んでいる場合に、該状態対応ソフトウェアを印
刷に用いたことがあるかどうかを判断し、用いたことがない場合に前記機器対応ソフトウ

エアを起動しないように制御し、用いたことがある場合、ユーザからの前記機器対応ソフトウェアの実行指示に応じて、該機器対応ソフトウェアを起動する起動ステップとを有することを特徴とする起動制御方法。

【請求項 9】

機器装置の接続に応じて起動する機器対応ソフトウェアの種類と、該機器対応ソフトウェアと同時に稼動することが適さない同時稼動不適格プログラムの種類とを記憶する記憶手段と、

稼動している稼動プログラムを検索する検索手段と、

前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいるかどうかを判断し、前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいない場合、前記機器装置が接続された時に前記機器対応ソフトウェアを起動し、前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいる場合、前記機器装置が接続された時に前記機器対応ソフトウェアを起動しないように制御する起動手段と

を有することを特徴とする起動制御装置。

【請求項 10】

前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいる場合に、前記起動手段は、前記機器装置が接続された後、前記同時稼動不適格プログラムの終了後に、前記機器対応ソフトウェアを起動するように制御することを特徴とする請求項 9 に記載の起動制御装置。

【請求項 11】

前記起動手段は、更に、前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいる場合に、前記機器対応ソフトウェアの起動待ちをするかどうかを判断し、起動待ちをすると判断した場合に、前記同時稼動不適格プログラムの終了後に、前記機器対応ソフトウェアを起動するように制御することを特徴とする請求項 10 に記載の起動制御装置。

【請求項 12】

機器装置の接続に応じて、該機器装置に対応する機器対応ソフトウェアを起動する起動手段と、

機器対応ソフトウェアの種類と該機器対応ソフトウェアと同時に稼動することが適さない同時稼動不適格プログラムの種類とを記憶する記憶手段と、

稼動している稼動プログラムを検索する検索手段とを有し、

前記起動手段は、前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいるかどうかを判断し、前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいれば、前記機器対応ソフトウェアを終了させることを特徴とする起動制御装置。

【請求項 13】

前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいる場合に、前記起動手段は、前記同時稼動不適格プログラムの終了後に、前記機器対応ソフトウェアを再起動するように制御することを特徴とする請求項 12 に記載の起動制御装置。

【請求項 14】

前記起動手段は、更に、前記稼動プログラムが前記同時稼動不適格プログラムを含んでいる場合に、前記機器対応ソフトウェアを再起動するかどうかを判断し、再起動すると判断した場合に、前記同時稼動不適格プログラムの終了後に、前記機器対応ソフトウェアを再起動するように制御することを特徴とする請求項 13 に記載の起動制御装置。

【請求項 15】

印刷装置の状態に対応する状態対応ソフトウェアの種類と、前記印刷装置の接続に応じて起動する機器対応ソフトウェアの種類とを記憶する記憶手段と、

稼動している稼動プログラムを検索する検索手段と、

前記印刷装置が接続された時に、該印刷装置の状態を取得する取得手段と、

前記稼動プログラムが、前記取得した印刷装置の状態に対応する前記状態対応ソフトウェアを含んでいるかどうかを判断し、前記稼動プログラムが前記状態対応ソフトウェアを含んでいない場合に前記機器対応ソフトウェアを起動し、含んでいる場合に前記機器対応

ソフトウェアを起動しないように制御する起動手段と
を有することを特徴とする起動制御装置。

【請求項 16】

印刷装置の状態に対応する状態対応ソフトウェアの種類と、前記印刷装置の接続に応じて起動する機器対応ソフトウェアの種類とを記憶する記憶手段と、

稼動している稼動プログラムを検索する検索手段と、

前記印刷装置が接続された時に、該印刷装置の状態を取得する取得手段と、

前記稼動プログラムが、前記取得した印刷装置の状態に対応する状態対応ソフトウェアを含んでいるかどうかを判断し、前記稼動プログラムが前記状態対応ソフトウェアを含んでいない場合に、前記印刷装置の接続に応じて予め設定された機器対応ソフトウェアを起動し、前記稼動プログラムが前記状態対応ソフトウェアを含んでいる場合に、該状態対応ソフトウェアを印刷に用いたことがあるかどうかを判断し、用いたことがない場合に前記機器対応ソフトウェアを起動しないように制御し、用いたことがある場合、ユーザからの前記機器対応ソフトウェアの実行指示に応じて、該機器対応ソフトウェアを起動するように制御する起動手段と

を有することを特徴とする起動制御装置。

【請求項 17】

コンピュータに、請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の起動制御方法の各ステップを実行させるためのプログラム。

【請求項 18】

請求項 17 に記載のプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 6】

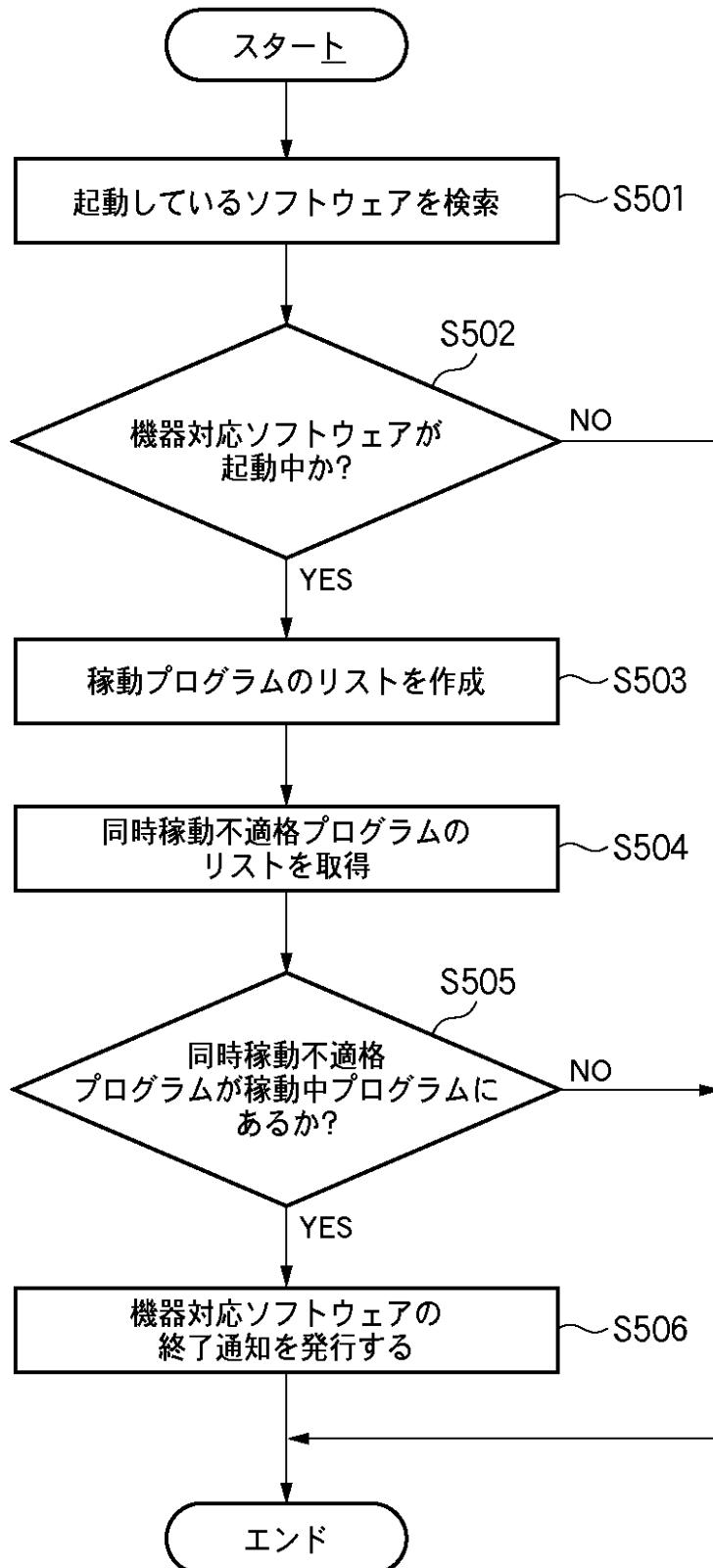
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 5 】



【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 6

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 6 】

